

安全報告書

第31期 (20.10.1~21.9.30)

ごあいさつ

日頃から弊社のスキー場（これまでの「宝台樹スキー場」、「武尊牧場スキー場」並びに今期から弊社が指定管理者になりました「スノーパル・オグナほたか」を加えた三スキー場）をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。また、索道事業に対しましても格別のご理解を賜り心から感謝申し上げます。

弊社は、ご来場されたお客様にご満足していただくため、お客様本位のスキー場運営を心がけておりますが、何をおいてもお客様の安全確保がすべての基本であると考え、各シーズンごとに策定する「スキー場営業の基本方針」においても「安心・安全なスキー場運営」を掲げ、安全確保第一でさまざまな取組みを推進しております。

この報告書は、鉄道事業法第19条の4等の規定に基づき、索道輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について広くご理解いただくため公表するものです。皆様のご意見、ご感想をお寄せいただき今後の輸送の安全に反映させていただきたいと考えております。

今後とも弊社のスキー場のご利用をお待ちいたしております。

武尊山観光開発株式会社

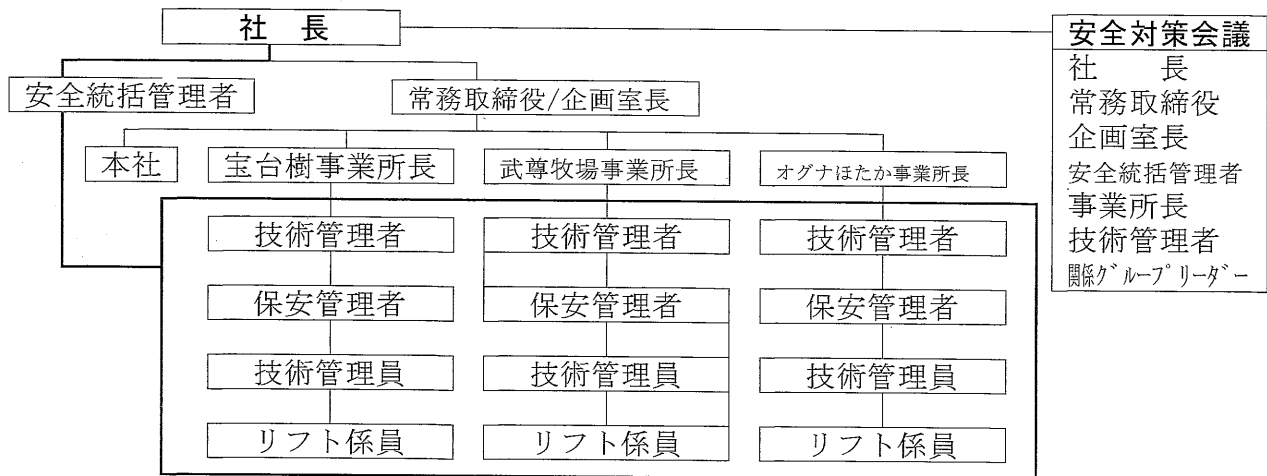
代表取締役社長 原 崎 英 敏

1 安全に関する基本方針

- (1) 社長及び役員は、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めます。また、索道施設及び従業員を総合活用して、輸送の安全を確保するための管理の方針、その他事業活動に関する基本的な方針を具体的に定めます。
- (2) 社長、役員及び従業員は次に掲げる行動規範を実践し、輸送の安全確保に努めます。
 - ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
 - ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正に職務を遂行します。
 - ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
 - ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いを行います。
 - ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動しすみやかに安全適切な処置をとります。
 - ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
 - ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

2 安全管理体制

社長を最高責任者とする安全管理体制を次図のとおり構築し、各責任者の責務を明確にしております。



3 事故等の発生状況とその再発防止策

- (1) 索道運転事故（人身傷害事故）
索道運転事故（人身傷害事故）はありません。
- (2) 災害
災害による運行停止はありません。
- (3) インシデント
国土交通省へのインシデントの報告はありません。

4 安全確保のための取組

(1) 安全教育

輸送の安全性向上のためには、知識・技能の向上、教育の充実等が重要と考え、各従事者を専門機関主催の各研修会等へ参加させるとともに、シーズン営業前に索道施設の取扱・乗客への適切な対応等について当社主催の安全教育を実施しております。

また、シーズン営業中も定期的の実務研修を実施し安全輸送への意識が薄らぐことのないよう教育に努めております（右上図）。

(2) 緊急時対応訓練

シーズン営業前に索道従事者全員による救助訓練及び予備原動装置取扱訓練を実施しております。またシーズン営業中も適時、救助訓練等を実施しております。（右下図）

(3) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため計画的に取り組んでおります。毎期、リフト収入の概ね10%程度を



目安に整備の充当を図っております。

今期（31期）は、宝台樹スキー場にあつては、第8リフトの非常ブレーキ、第8・9リフトの押送ベアリング、第9リフトの減速機の各OH（オーバーホール）などを、武尊牧場スキー場にあつては、第1・3・5リフトの索受装置取替え、第3リフトの折返し滑車ゴムライナー交換などを、スノーパル・オグナほたかにあつては、第3クワッドリフトの握索機OH・押送軸整備、第2リフトの索受装置取替えなどを実施いたしました。

5 弊社からお客様へのお願い

スキー場はスノースポーツを存分に楽しむ場ではありますが、他方、相応の危険を伴うスポーツの場でもあります。

弊社のスキー場ではお客様の安全を守るため最善の努力をしておりますが、お客様におかれましても、ご自身のため、また、他のお客様のためにも次の事項に十分ご注意ください。ようお願い申し上げます。

- ① リフト乗車後は、必ずセーフティバーを降ろしましょう。
- ② リフト搬器の座板やフレームなどに、衣服や携帯品を挟まないよう注意しましょう。
- ③ リフト乗車中は搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないよう注意しましょう。
- ④ リフト降車時には、スキーやボードの先端を上げて降車位置に真っすぐに向かって降車しましょう。
- ⑤ スキー・ボードの流れ止め装置をつけましょう。
- ⑥ パークを利用する際はヘルメットをかぶりましょう。
- ⑦ 滑走中は安全なスピードを確保しましょう。
- ⑧ 決められたコース・ゲレンデを守って滑走しましょう。
- ⑨ 周りに注意し、他のスキーヤー・ボーダーへの配慮を心掛けましょう。
- ⑩ スキー場では、係員の指示に従い、安全の確保に努めましょう。
- ⑪ 引率者は仲間の状況を十分把握し、安全を優先して誘導しましょう。
- ⑫ スノースポーツは危険を伴うスポーツであることを自覚しましょう。